

■使用上のご注意

- 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- 羽根が回転することにより、横揺れが起きる場合がありますが故障ではありません。

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。 △注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。しばらくしてから行なってください。 1 電源を切る 2 古くなったランプを除外す	3 新しいランプを取付ける ランプの取付けは丁寧に、確実に 行なってください。 落下によるけがの原因になります。 ※電球形蛍光ランプは使用できません。 4 使用済みのランプは 必ず市区町村の指示に従い、処理してください。	
--	---	--

■グローブの取外し方 △注意 グローブの取外しの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

1 電源を切る 2 ランプ・グローブを除外す ランプを除外し、グローブを支えながらグローブ押さえをゆるめて除外す。 3 グローブ・ランプを取付ける グローブをグローブ受けにはめ込み、グローブ押さえで締め付ける。 ランプを取付ける。	
---	--

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 木・和紙の部分の汚れはハタキでホコリを払ってから乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。変質の原因になるので水拭きしないでください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

コイズミ照明器具 保証書		※お客様へ	保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。
<保証について> - 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。 - 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器は3年間です。 - ランプ・グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 - 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷 (4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (5)施工上の不備に起因する故障や不具合 (6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 (7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合 - 保証書は日本国内においてのみ有効です。 - 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。		<アフターサービスについて> - 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。 - 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。 - 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。 - 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。 ※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または別紙記載のコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。 ※This warranty is valid only in Japan.	
保証期間(お引き渡し日より) 本体: 1年間 安定器: 3年間		お買上年月日	
お名前 ご住所 電話 ()		取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号	

コイズミ照明株式会社

再生紙を使用しています。

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工 取扱説明書

型番 BAE4606FP

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

【安全上のご注意】

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
！ 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に 行なってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。
禁止	このような場所には取付けないでください。 この器具は天井取付専用器具です。傾斜天井・壁などには取付けできません。 不安定な場所や石膏ボード、ベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。 →器具の落下によるけがの原因になります。
分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。
禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。
！ 厳守	埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものを ご使用ください。 →樹脂製ボックスの場合、器具の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され火災・落下によるけがの原因になります。

扇風機運転中は羽根に触れないでください。
→落下や破損によるけがの原因になります。

器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。
→火災の原因になります。

下図のような場所や配線器具の場合、取付けできません。
→火災・感電・落下によるけがの原因になります。
配線器具の交換が必要です。配線器具の交換には資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。

ケースウェイはめ込み配線器具

●破損している

●電源端子露出形

異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。
→放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

⚠ 注 意				この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。	
接触禁止	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため 触らないでください。 →やけどの原因になります。	禁止			
水ぬれ禁止	この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外 では使用できません。 →火災・感電の原因になります。				
禁止	周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外 では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。	厳守			
	アームなどの可動部のすきまに指を入れないで ください。 →けがの原因になります。				
	風を長時間、体にあてないでください。 →健康を害することがあります。				

■定格

型 番	定格電圧	周波数	消費電力		重量	使用ランプ
			扇風機(強)	照明		
BAE4606FP	AC100V	50/60Hz共用	50Hz	60Hz	6.6kg	普通球 60W(E26)×4
			27W	31W		

※重量は羽根を含めた重量です。

■扇風機仕様(回転方向:下向き)

電圧(V)	周波数(Hz)	回転数(rpm)		風速(m/min)	風量(m³/min)	消費電力(W)
AC100V	50	強	179	94	46	27
		中	115	55	27	15
		弱	59	25	12	5
	60	強	192	105	52	31
		中	123	61	28	16
		弱	65	29	15	5

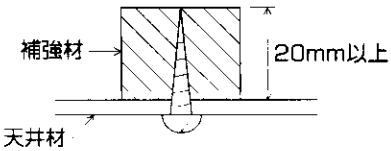
※電圧特性、羽根の重量および室温の変化により回転数は±15%の範囲で、誤差が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。(回転数は室温25度にて測定)

※風速・風量は器具最下面での測定値です。

■取付前の確認 △警告 配線器具の取付・交換は工事店・電器店へ依頼してください。火災・感電の原因になります。

1 器具重量に耐えられるよう取付部の強度を確保する

取付ネジを補強材に20mm以上ねじ込めるようにする。



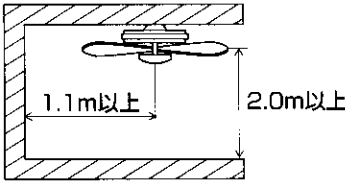
2 天井に右図の配線器具がついている場合

電気工事は不要。取付けられている配線器具が確実に固定されているか確認する。



3 設置場所を確認する

- 羽根が回転するとき、人・家具・壁その他インテリアに当たらないように取付ける。
- 雨や水しぶきのかかる場所、直射日光の当たる場所には取付けない。
- ホコリの多い場所、酸・アルカリ・油を使う場所には取付けない。



4 取付面がクロス貼りの場合

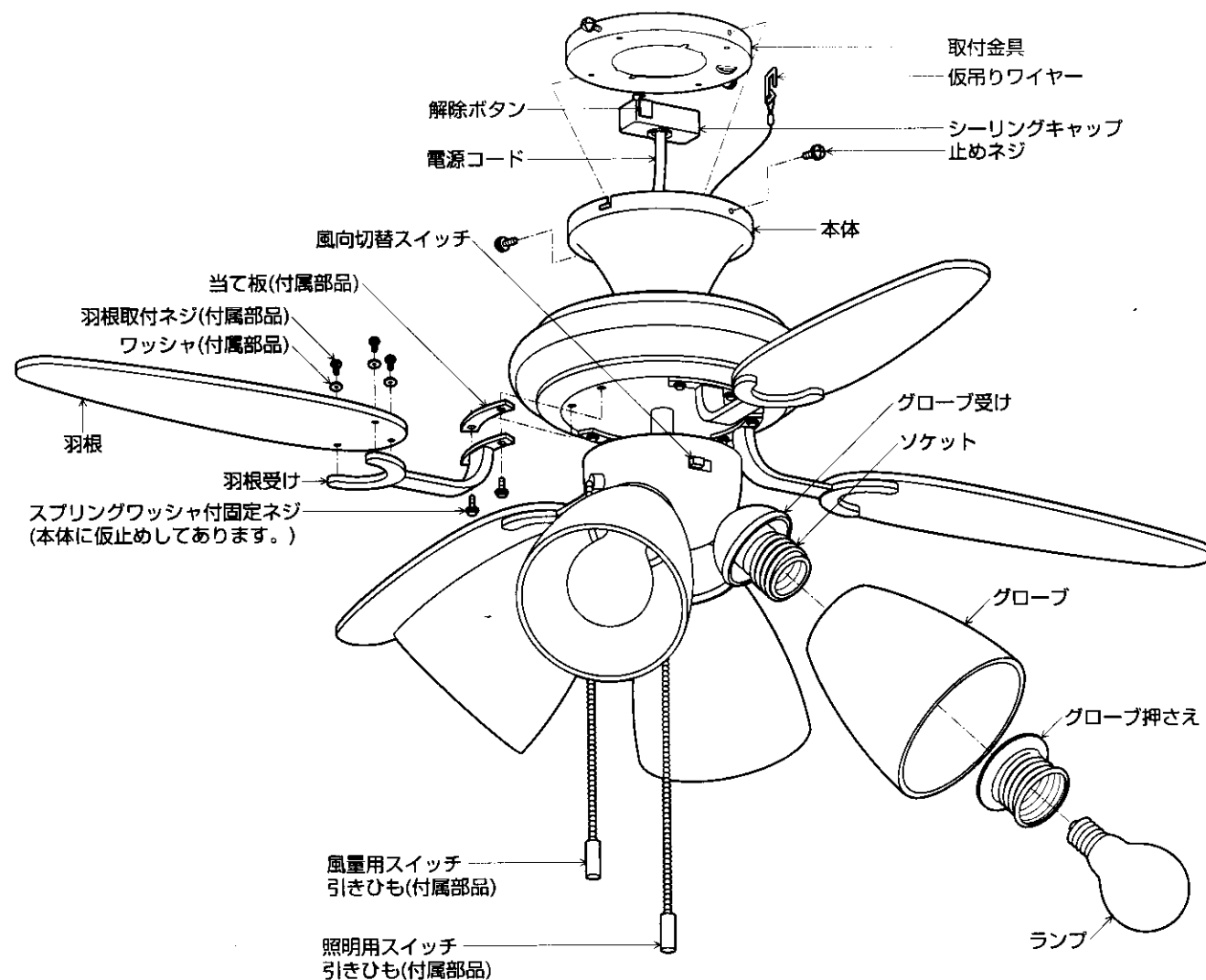
接着剤が十分に乾燥してから器具を取付ける。
変色やサビの原因になります。

5 必ず同梱の部品を使用する

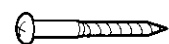
羽根は同じ重量のものをセットしていますが、羽根・灯具のバランスなどにより本体が多少揺れることがあります。

■取付手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



〈付属部品〉



取付ネジ・・・・・・4本



引きひも・・・・・・2本



取付ネジ
(平ワッシャ・スプリングワッシャ付) 2本



当て板・・・・・・4枚



羽根取付ネジ・・・・・・12本(予備1本)



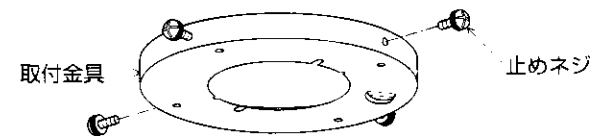
スプリングワッシャ付
固定ネジ(予備)・・・・・・1本



ワッシャ・・・・・・12枚(予備1枚)

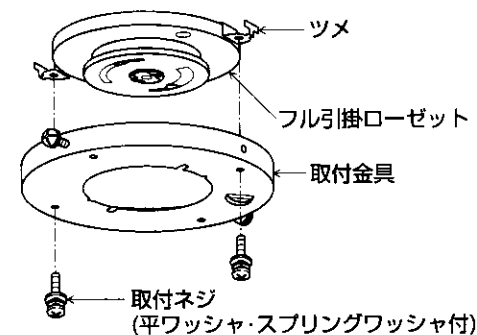
1 取付金具を取付ける

取付金具の止めネジをゆるめる。うち2ヶ所の止めネジを取外す。



〈ローゼットの場合〉

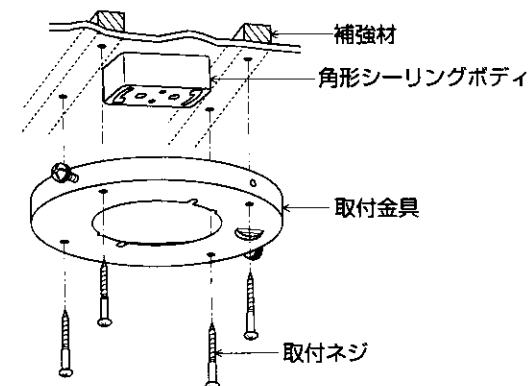
取付金具をローゼットに合わせ、取付ネジで取付ける。



※埋込ローゼットの場合も同様に取付けてください。

〈シーリングの場合〉

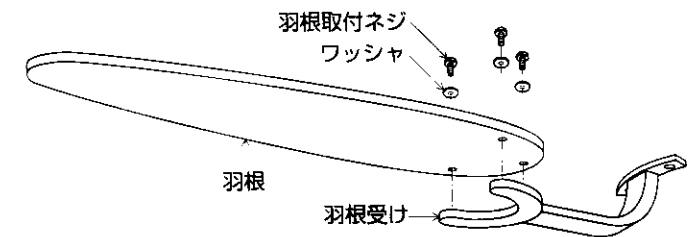
取付金具をシーリングに合わせ、取付ネジで取付ける。



※フル引掛シーリング・丸形シーリングボディの場合も同様に取付けてください。

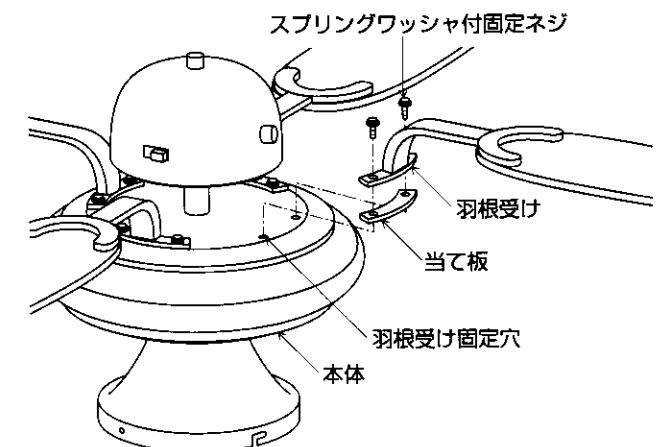
2 羽根を取付ける (床面で作業する方が楽にできます。)

羽根と羽根受けを付属の羽根取付ネジ3本とワッシャ3枚で確実に取付ける。



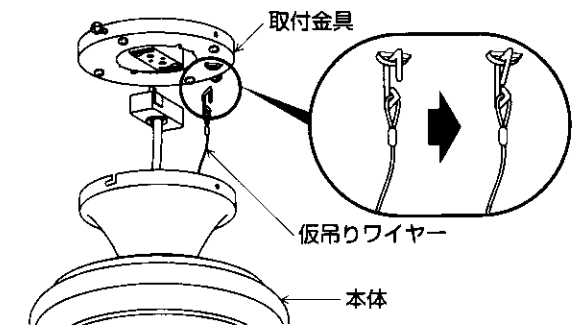
本体に仮止めしてあるスプリングワッシャ付固定ネジをはずし、付属の当て板を本体の羽根受け固定穴に合わせて貼り付け、羽根受けをスプリングワッシャ付固定ネジ2本で1枚ずつ確実に固定する。

※取付けは確実にこなう。締め付けが不十分な場合は、ガタツキまたは、事故の原因になります。



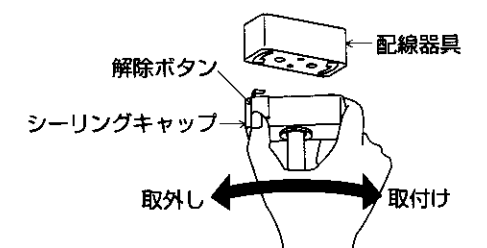
3 仮吊りワイヤーを取付ける

仮吊りワイヤーを取付金具に引っ掛けて閉じる。



4 シーリングキャップを接続する

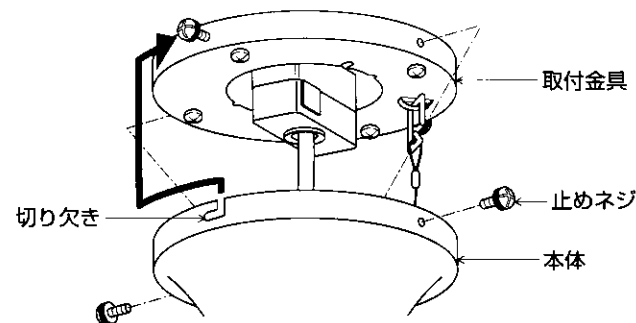
※取外すときは解除ボタンを押した状態で左に回す。



5 本体を取付ける

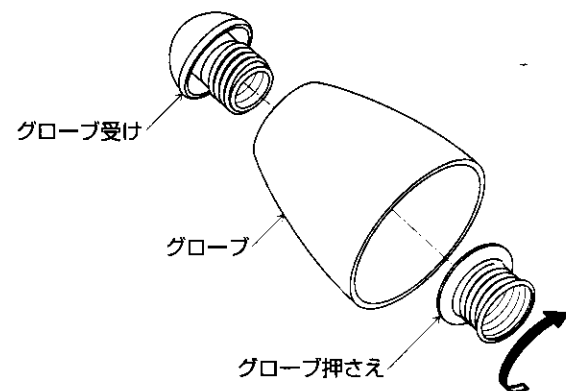
本体の切り欠きを止めネジに合わせてはめ込み、右に止まるまで回してから止めネジを締め付ける。
■取付手順1で取外した止めネジで本体を確実に固定する。

※取付けは確実にこなう。締め付けが不十分な場合は落下・ガタツキの原因になります。



6 グローブを取付ける

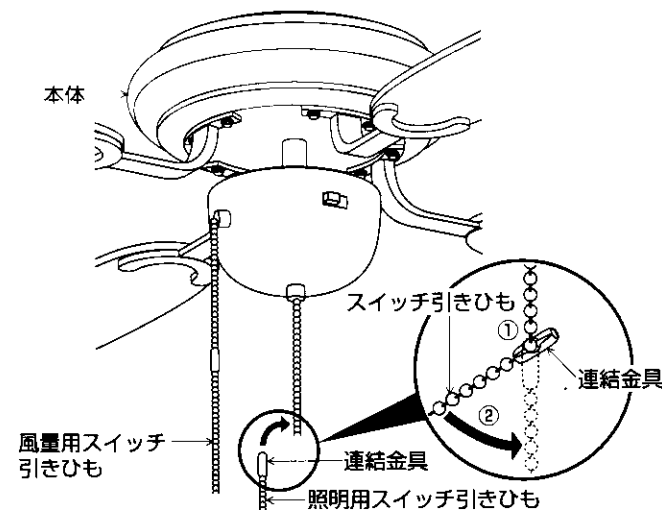
グローブをグローブ受けにはめ込み、グローブ押さえで締め付ける。



7 ランプを取付ける

8 スイッチ引きひもを取付ける

付属の風量用スイッチ引きひも、照明用スイッチ引きひもを本体から出ているチェーンに連結金具で取付ける。



9 取付け・点灯および羽根の回転の確認を行なう

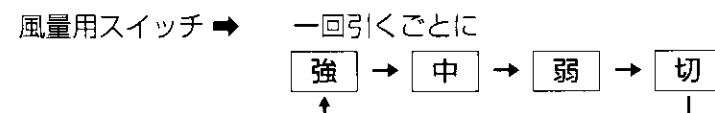
- ①取付金具の取付けにガタツキがないか？
 → **■取付手順1**の取付ネジを十分締め付けているか
- ②羽根のブレがないか？
 → **■取付手順2**の羽根取付ネジ、スプリングワッシャ付固定ネジを十分締め付けているか
 当て板を確実に貼り付けているか

■回転速度の切り替えと点灯順序について

※壁スイッチのある場合、あらかじめ壁スイッチをONにし、スイッチ引きひもを操作してください。

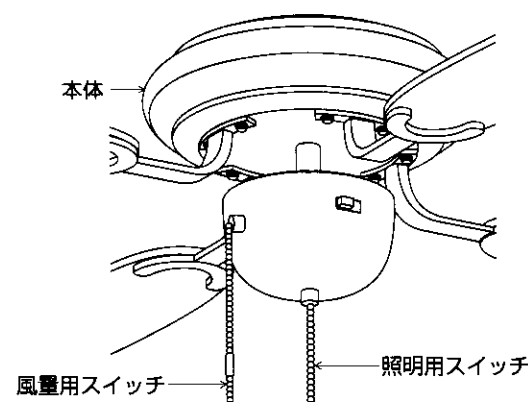
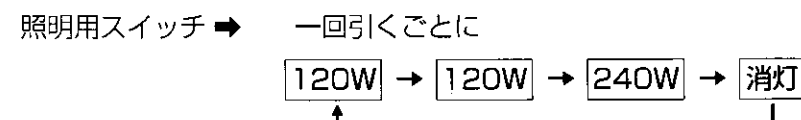
<回転速度の切り替え>

風量用スイッチを操作してください。



<点灯順序>

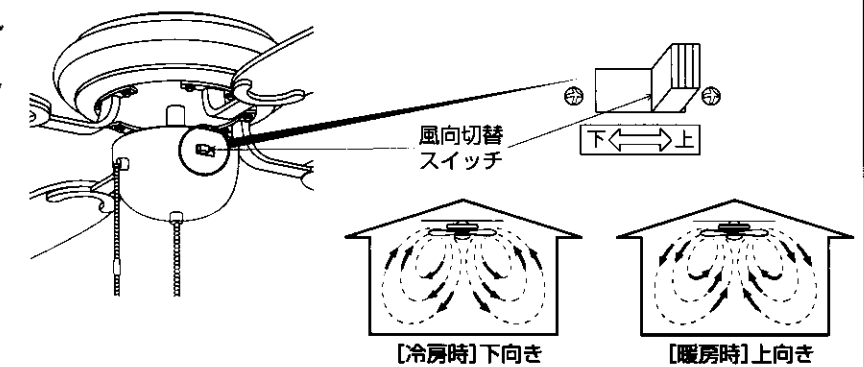
照明用スイッチを操作してください。



※作動状態がおかしいときはすぐに工事店・電器店に連絡してください。素人工事は危険です。

■風向き切り替えについて

風向切替スイッチにて上向きの風、下向きの風が選択できます。「上」にすると部屋全体にゆっくりとした風を送り、部屋の空気をかくはんします(冬)。また、「下」にすると、直接風が当たり、涼しさが増します(春夏秋)。



■長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

■経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

【製造年】本体に西暦4桁で表示してあります。



【設計上の標準使用期間】 15年
 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。
 ※当該期間は扇風機機能について設定したものです。

(設計上の標準使用期間とは)

- 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また偶発的な故障を保障するものでもありません。

■標準的な使用条件 日本電機工業会自主基準HD-116-3による

大項目	中項目	小項目	備考
環境条件	電圧	単相100V又は単相200V	機器の定格電圧による
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	30℃	JIS C9601 参照
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	施工取扱説明書による
負荷条件		定格負荷(風速)	施工取扱説明書による
想定時間等	天井扇	1日あたりの使用時間	10(h/日)
		1日使用回数	5(回/日)
		1年間の使用日数	180(日/年)
		スイッチ操作回数	900(回/年)
		首振運転の割合	対象外

●「経年劣化とは」
 長期間にわたる使用や放置にともない生じる劣化をいいます。

※上記の「長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示」は、電気用品安全法の改正に基づき、2009年4月以降生産の製品に記載しています。